

令和7年度 美園小学校避難所運営委員会

日時：令和7年7月12日（土）10：00～

会場：美園小学校 地域交流スペース

1 開 会

2 あいさつ

・運営リーダー

・施設管理者

3 自己紹介

4 議 題

（1）活動班の編成

（2）避難所運営訓練の内容、スケジュール等

5 そ の 他

6 閉 会

(1) 活動班の編成

	R 6	R 7 (案)
総務・情報班	浦和野台自治会	浦和野台自治会
救護・環境班	大門美園自治会 大門南自治会	大門美園自治会 大門南自治会
食料・物資班	下野田自治協力会	下野田自治協力会

【各班の主な役割】

総務班…避難者の誘導、避難者の入所・退所等の状況把握、ボランティアの受入・管理など（避難所運営マニュアル p. 24）

情報班…情報収集、発信、伝達、安否確認等問い合わせへの対応及び避難者の呼び出しなど（避難所運営マニュアル p. 27）

救護班…けが、急病等の傷病者に対する応急的な処置、医療機関への搬送補助など（避難所運営マニュアル p. 28）

環境班…トイレ、ごみ置場、風呂の設置及び衛生管理、避難施設内の清掃及び整理整頓など（避難所運営マニュアル p. 32）

食料班…避難者及び近隣の在宅避難者に対する食糧の配給、炊き出しの実施など（避難所運営マニュアル p. 29）

物資班…避難者及び近隣の在宅避難者に対する物資の供与、防災資機材や備品の管理など（避難所運営マニュアル p. 31）

(2) 避難所運営訓練の内容、スケジュール等

①開催日程 11月8日（土）午前

②開催規模

【参考】令和元年度の運営訓練の参加者数（運営委員含む）75名

令和2～4年度は運営委員のみで規模を縮小して実施

令和5年度の運営訓練の参加者数（運営委員含む）21名

令和6年度の運営訓練の参加者数（運営委員含む）45名

③訓練内容・スケジュール【参考：別紙】

・必ず行う訓練：避難者受入訓練

・下記のうち、1つ実施

① 要支援者受け入れ訓練

② 簡易ベッド組立訓練

③ 埼玉県助産師会講演会（日程により実施できない場合あり）

令和6年度 美園小学校避難所運営訓練スケジュール及び訓練内容

時間	訓練項目	内容・役割	担当	備考
8:10	避難所担当職員集合	体育館内に表示紙を貼る、いすをいくつか用意する（高齢者等）	避難所担当職員	
8:30	運営委員集合	体育館に集合 あいさつ：運営リーダー、校長先生 役割分担の確認：避難所担当職員	運営委員、施設管理者、避難所担当職員	
8:35	開設準備	○避難所施設の安全点検、設備の確認	施設管理者	有事の際は運営委員が参集（避難）してから順次開設準備を行うが、訓練のため先に準備
		○体育館の机を5、6台お借りして体育館入口に配置する。 ○避難者受入及び記載所準備 机・避難所開設用書類一式（避難者カード・ハザードマップ）	運営委員（浦和野台） 避難所担当職員	
		○マンホール型トイレの設置場所確認、備品運搬（防災倉庫→設置場所） ※雨天の場合はピロティなど屋根のある場所	運営委員（大門美園、大門南） 避難所担当職員	
		○配布物資の確認、運搬（配布物資を入れるビニール袋、ブルーシートも）	運営委員（下野田） 避難所担当職員	
9:00	震度6強の地震発生 住民に避難勧告発令			
9:00 ～ 9:30	避難所開設 ～ 避難者受付、誘導	○体育館入口で避難者の受付を行う ・「避難者カード」に自治会名、氏名を世帯ごとに記入してもらう（1世帯1カード）。 ・校舎内案内図、ハザードマップ、アンケートを渡す。	運営委員（浦和野台） 避難所担当職員	訓練のため、一部箇所のみ記入してもらう
		○ピロティで待機し、正門・北門から入ってきた参加者を体育館に誘導する。	運営委員（大門美園、大門南） 避難所担当職員	
		○避難者を体育館内（自治会別の貼り紙のあるところ）に誘導する。	運営委員（下野田） 避難所担当職員	
		○緑区災害対策本部へ開設状況報告する。	避難所担当職員	

時間	訓練項目	内容・役割	担当	備考
9:30	訓練開始	進行：避難所担当職員 ○あいさつ：運営リーダー、校長先生 ○本日のスケジュールについて、班分けについて：避難所担当職員	参加者全員	マイクorメガホン借用
(前半) 9:40 ～ 10:10頃	運営訓練	A班：施設内を案内し、利用場所の説明をする。誰がどの場所を利用できるのか認識してもらう。（案内：教頭先生） B班：マンホール型トイレを組立てる。（避難所担当職員） C班：防災倉庫から体育館へ訓練物資を移動し、配布物資を袋詰めをする。（避難所担当職員） ※各班終了したら体育館に戻る	A班：浦和野台 B班：大門美園、大門南	
(後半) 10:10 ～ 10:40頃		A班：2つに分かれて以下を実施。要支援者受け入れ訓練を行い、車いすを使用した避難者を想定した通路確認等、要配慮者の特性に配慮する。居住区画確認訓練を行い、ブルーシートを引き、段ボールパーテーションを組み立て、居住区画について確認する。）（避難所担当職員） B班・C班：施設内を案内し、利用場所の説明をする。誰がどの場所を利用できるのか認識してもらう。（案内：教頭先生、避難所担当職員） ※各班終了したら体育館に戻る	C班：下野田、（大門南から一部移動）	
10:40	訓練終了	進行：避難所担当職員 ○総評：運営リーダー	参加者全員	
10:45	訓練物資配布 アンケート回収 参加者解散	○訓練物資を参加者に配布 ○アンケートを回収し、参加者解散	運営委員（下野田、浦和野台） 避難所担当職員	
10:45	片付け	○マンホール型トイレを解体し、防災倉庫の所定の位置に収める。	運営委員（大門美園、大門南） 避難所担当職員	
11:15	体育館入口	○訓練の総括	運営委員、施設管理者、避難所担当職員	
11:30	終了	○緑区災害対策本部に訓練の終了を報告	避難所担当職員	

令和6年度美園小学校避難所運営訓練について

令和6年11月9日（土） 9：30～11：15 美園小学校

<感想>

- ・段ボールベット、パーテーションを作成できてよかった。
- ・災害時には、地域での助け合いが重要だと再確認した。
- ・参加してみないとわからない感覚がつかめてよかった。
- ・校内回りがあって、校内の避難場所の確認ができてよかった。
- ・居住スペースの確認ができてよかった。
- ・地域の皆様が協力的であったことが印象的であった。
- ・避難所としての学校の機能を知る機会になった。段ボールベットの組み立てや非常トイレは良い学びになった。
- ・地域の団結につながる良い機会であった。
- ・日頃見ることができない施設が見られてよかった。
- ・各々の自主性が大事であると感じた。
- ・段ボールベットの作成やシートを引いて実際にやったことでイメージがついた。
- ・地域密着での訓練は必要であると感じた。
- ・事前に知識の必要性を感じた。

<意見>

- ・校内地図をデータで共有したほうがよい。
- ・けが人に対する対策
- ・物資の搬入には人手がかかりそう。
- ・家から避難する際のレベルの話が聞きたかった。
- ・実際に災害が起きる天候や季節に対応した訓練が必要。
- ・炊き出し訓練をやってみたい。
→炊き出し訓練について（補足）
 - ・炊き出し従事者の検便検査が必要になります。
 - ・従事者の氏名・住所の報告が必要になります。（訓練日の2ヶ月前程度）